

Digital

暮らしを便利に

テクノロジーの未来を切り開く Z世代の可能性！

今回は前回お話しした世代のZ世代を掘り下げます。
Z世代は今の12歳から27歳までの人を指します。独立行政法人日本貿易振興機構ジェトロの調査によると、この世代は①4D思考、②WE世代、③ハイテク依存という3つの特徴があるといわれています。

「4D」は、3Dに振動や匂いといった体感が加わった、現実とバーチャルが一体化した世界を指します。デジタル技術が進化した今、Z世代は3Dから4Dの世界に目を向けるようになっていきます。

また、Z世代は「WE世代」ともいわれており、コミュニティやその場の意見に同調しやすいという傾向も見られ、共存意識を強く持っています。

その一方で、スマートフォンを手放せない、ソー

シャルネットワーキングサービスやゲームで誰かとつながっていないと不安になるような「ハイテク依存」も問題視されています。

Z世代の子をもつ保護者は、「ネット上で知らない人と会話して大丈夫なのか、長時間にわたるゲーム、課金はしていないか」など心配することが多々あるのではないのでしょうか。

将棋の藤井聡太名人が、AI機能を搭載した将棋ソフトで日々鍛錬を重ねているのは有名な話です。ハイテクを駆使して名人の域に到達したわけです。そういった面で私は、前述の不安要素を懸念しつつも「テクノロジーを使いこなし未来を切り開いていく、Z世代の将来の可能性」に期待しています。

照会 御前崎市CIO補佐官 高村弘史(総務省地域情報化アドバイザー)
デジタル推進課 ☎0537-851127

Atomic

暮らしと原子力

なっとく！原子力とエネルギーの

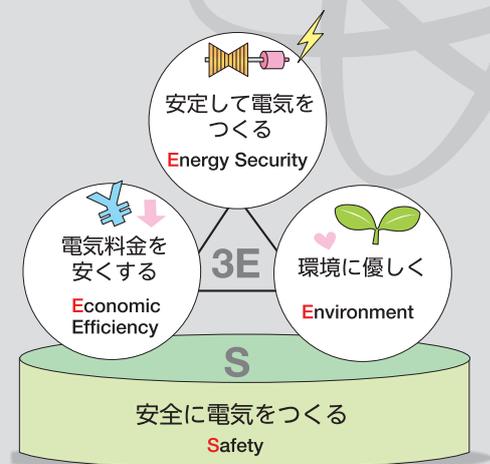


エネルギーミックスってどうして必要なの？



エネルギーを作るときには、安全性(Safety)を最優先にしながら、安定的に(Energy Security)、できるだけ安く(Economic Efficiency)、環境に配慮(Environment)する必要があります。この考え方は「S+3E」と呼ばれ、日本のエネルギー政策の基本になっています。

「S+3E」を実現するために行っているのが「エネルギーミックス」です。火力、水力、原子力、再生可能エネルギーなどをバランスよく組み合わせて電気を作ることをエネルギーミックスといい、これにより「S+3E」を実現し、便利で快適な暮らしを次の世代につなげていこうとしています。



照会 エネルギー政策課 ☎0537-851134